

特別企画： 中国地方 ゴルフ場運営業者の経営実態調査

2017年の年収入高合計、6年連続で増加 ～年収入高規模別、「1億円～10億円未満」が8割超～

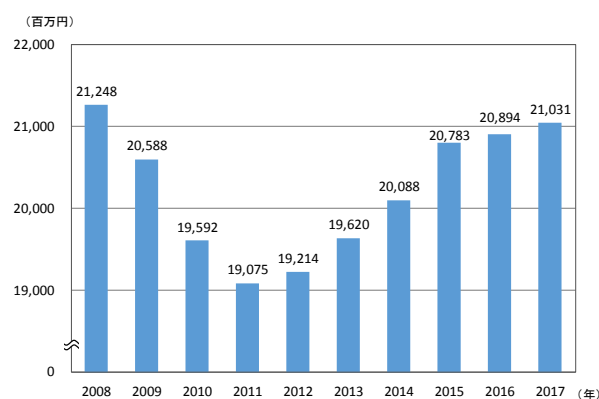
はじめに

スポーツのなかでも、根強い人気を誇る「ゴルフ」。同業界はレジャー産業の一角として存在感を示しており、業界動向に注目が集まる場面は少なくない。しかし、近時は競技人口の減少や高齢化が進むなか、若年層の取り込みや女性プレイヤーの獲得が喫緊の課題となっている。また、多くのゴルフ場が預託金の償還問題を抱えているなど、経営課題は山積するなか、中国地方にあるゴルフ場運営業者の経営実態はどうなのだろうか。

そこで、帝国データバンクでは2018年5月時点の企業概要データベース「COSMOS2」（147万社収録）の中から、3期連続（2015年～2017年決算）で業績比較が可能なゴルフ場運営業者951社を抽出した。そのデータをもとに広島支店で、中国地方にあるゴルフ場運営業者65社の状況について集計・分析した。

■中国地方

ゴルフ場運営業者65社の年収入高合計の推移



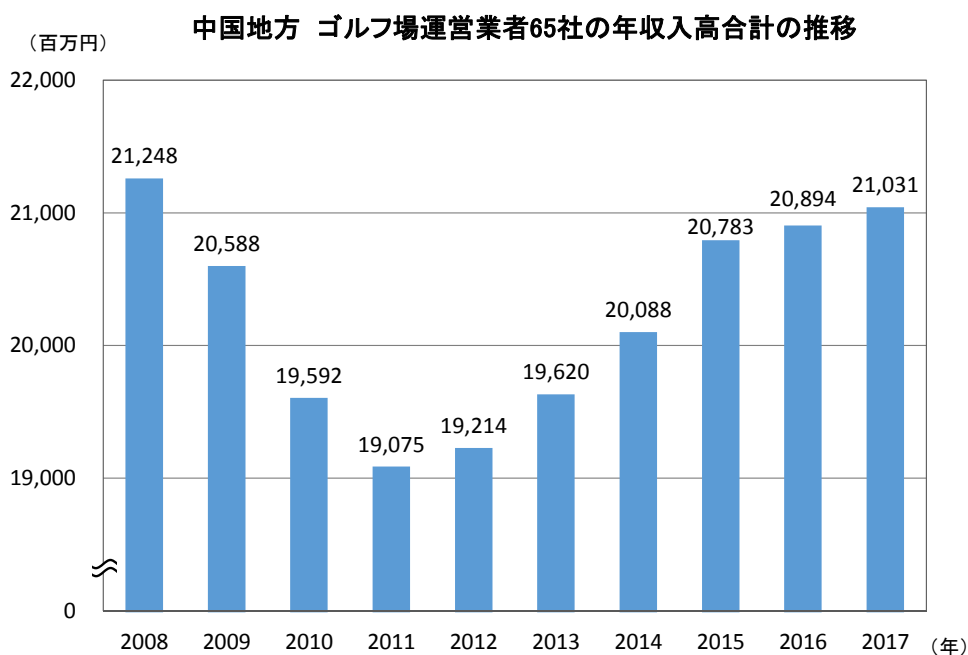
調査結果（要旨）

1. 2017年の年収入高合計は210億3100万円。前年を0.7%上回り、6年連続の増加
2. 年収入高規模別、『1億円～10億円未満』が8割超
3. 資本金別、『1000万円～5000万円未満』が最多
4. 業歴別、『30年～50年未満』が4割超えてトップ
5. 従業員数別、『10人～100人未満』が78.5%
6. 中国5県別、『広島県』が最も多く
7. 倒産推移、2017年は倒産なし。2018年は5月までで1件発生

1. 年収入高合計の推移：前年をわずかに上回る

中国地方にあるゴルフ場を運営する65社の2017年の年収入高合計は210億3100万円で、前年を0.7%上回った。

2008年～2017年までの10年間における年収入高合計の推移をみると、2008年～2011年まで減少を続け、2012年以降はゴルフ場の運営業者が増えた影響もあり、6年連続で増加した。



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
年収入高	21,248	20,588	19,592	19,075	19,214	19,620	20,088	20,783	20,894	21,031
前年比(%)	-	▲ 3.1	▲ 4.8	▲ 2.6	0.7	2.1	2.4	3.5	0.5	0.7
社数	55	57	58	59	60	63	64	65	65	65

2. 年収入高規模別：『1億円～10億円未満』が8割超

中国地方にあるゴルフ場を運営する65社について、年収入高規模別にみると、『1億円～10億円未満』が56社（構成比86.2%）で8割を超えて最も多かった。次いで、『1億円未満』が6社（9.2%）、『10億円～50億円未満』が3社（4.6%）が続いた。

年収入高規模	社数	構成比(%)
1億円未満	6	9.2
1億円～10億円未満	56	86.2
10億円～50億円未満	3	4.6
合計	65	100.0

3. 資本金別：『1000万円～5000万円未満』が最多

中国地方にあるゴルフ場を運営する65社について、資本金別にみると、『1000万円～5000万円未満』が27社（構成比41.5%）で最も多かった。次いで、『5000万円～1億円未満』が16社（24.6%）、『1000万円未満』『1億～5億円未満』がそれぞれ11社（16.9%）で続いた。

資本金	社数	構成比(%)
1000万円未満	11	16.9
1000万円～5000万円未満	27	41.5
5000万円～1億円未満	16	24.6
1億円～5億円未満	11	16.9
合計	65	100.0

4. 業歴別：『30年～50年未満』が4割超えてトップ

中国地方にあるゴルフ場を運営する65社について、業歴別にみると、『30年～50年未満』が28社（構成比43.1%）で最も多く、『50年～100年未満』が21社（32.3%）で続き、『30年以上』が7割を超えた。次いで、『10年～30年未満』が9社（13.8%）、『10年未満』が7社（10.8%）で続いた。

業歴	社数	構成比(%)
10年未満	7	10.8
10年～30年未満	9	13.8
30年～50年未満	28	43.1
50年～100年未満	21	32.3
合計	65	100.0

5. 従業員数別：『10人～100人未満』が78.5%

中国地方にあるゴルフ場を運営する65社について、従業員数別（役員、パート・アルバイトを除く）にみると、『10人～100人未満』が51社（構成比78.5%）で最も多かった。次いで、『10人未満』が13社（20.0%）、『100人～1000人未満』が1社（1.5%）で続いた。

従業員数	社数	構成比(%)
10人未満	13	20.0
10人～100人未満	51	78.5
100人～1000人未満	1	1.5
合計	65	100.0

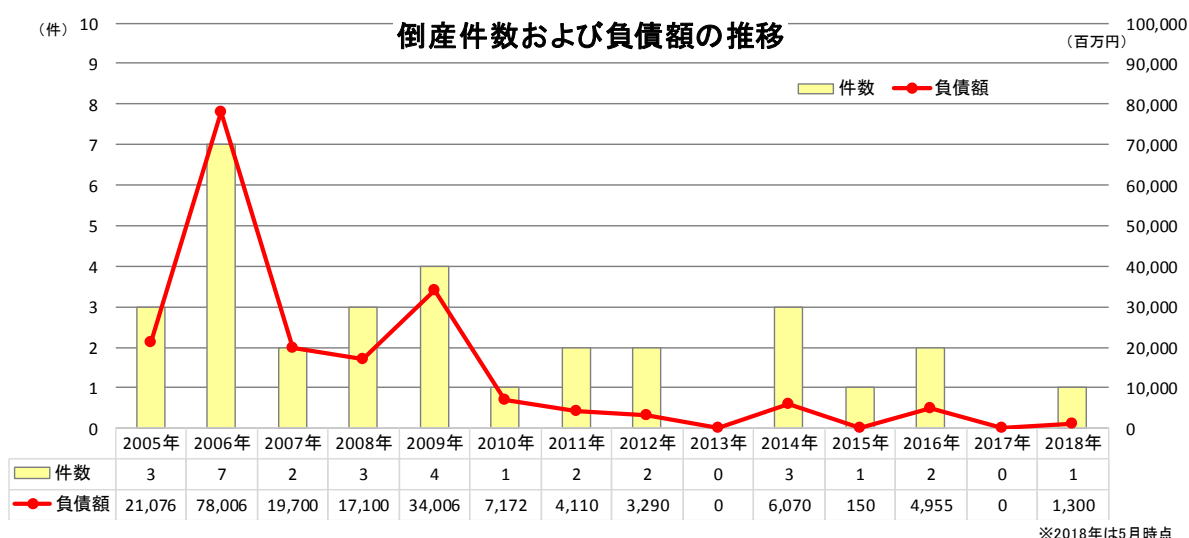
6. 中国5県別：『広島県』が最も多く

中国地方にあるゴルフ場を運営する65社について、中国5県別にみると、『広島県』が24社（構成比36.9%）で最も多かった。次いで、『岡山県』が21社（32.3%）、『山口県』が13社（20.0%）、『島根県』が5社（7.7%）、『鳥取県』が2社（3.1%）で続いた。

中国5県	社数	構成比(%)
鳥取県	2	3.1
島根県	5	7.7
岡山県	21	32.3
広島県	24	36.9
山口県	13	20.0
合計	65	100.0

7. 倒産推移：2017年は倒産なし

中国地方にあるゴルフ場運営業者の倒産推移とみると、2005年以降で倒産件数が最も多かったのは2006年（7件・負債780億600万円）で、2009年（4件・負債340億600万円）が続いた。2017年は倒産がなかったものの、2018年は1月～5月までで1件発生している。なお、負債額は2010年以降、100億円を下回る状況が続いている。



【参考】 中国地方 ゴルフ場運営業者の主な倒産

商号	所在地	負債(百万円)	態様	倒産年月
1 日本ゴルフ開発株式会社	岡山市北区	43,000	民事再生法	2006年8月
2 株式会社クリスタルリンクスゴルフクラブ	岡山県備前市	17,800	民事再生法	2006年7月
3 有限会社ランドマーク	岡山県真庭市	15,698	民事再生法	2009年6月
4 鷹の巣開発株式会社	広島県廿日市市	12,700	民事再生法	2007年8月
5 株式会社千代田ゴルフ倶楽部	広島市西区	11,000	民事再生法	2008年8月

まとめ

中国地方にあるゴルフ場を運営する65社の2017年の年収入高合計は、前年をわずかながら上回った。2016年にゴルフがオリンピック公式競技として復帰し、2020年開催の東京五輪への期待感が高まるなど、追い風が吹くゴルフ業界。一方で、来場者数は伸びを欠き、新規プレーヤーの取り込みが課題となるなか、預託金の償還問題を抱えたまま営業を続けているゴルフ場が多いといわれ、市場の縮小が懸念されるゴルフ業界の動向が今後も注目される。

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

【問い合わせ先】 株式会社帝国データバンク 広島支店情報部 担当：藤井・松岡
TEL：082-247-5930 FAX：082-249-1242